

事前意見・欠席委員意見

【福山委員】

- まだ、先の話しになりますが、冊子を作るときには、余白部分にイラストや標語などを子どもたちから募集して載せたら、親しみのある冊子になるのではと思います。

【山本良子委員】

- 9 ページ本文の 1 行目、「～結婚しない人，結婚を先送りにする人の増加が言われています。」⇒「～結婚・出産年齢が上昇していることがあげられています。」程度の表記にしてはどうか。「結婚しない人」「結婚を先送りにする人」という文言が、「結婚すべき・結婚した方が良い」という価値観からの否定的な表現にも捉えられ得る。
- 24 ページ本文 2 行目、「明日の新潟市の担い手の育成の基礎をなす～」との文言，非常に読みづらい。「地域社会の活力につながる，重要な未来への投資，未来への希望です」のみで良いのでは。
- 同ページ 6 段落目の 2 行目，「保護者が不安や負担ではなく子育てを楽しいと感じ～」の文言，「保護者の不安や負担を和らげ，子育てをより楽しいと感じ～」などとしてはいかがか。不安や負担が少なからずあるのが子育て。悲喜こもごもを共にするからこそ子どもや家族への慈しみの念が育まれ，また同じような不安や負担を感じている仲間との交流も生まれるものと感じるから。
- 同ページ 7 段落目，「新潟市は～目指します。」までをこの基本理念の本文冒頭に記載してはいかがか。

【横尾委員】

○ 3ページ<計画の位置づけ>

「●●●●プラン」についての愛称募集の提案

次世代育成支援対策行動計画の「すこやか未来アクションプラン」の認知度が非常に低かったことを記憶しております。

そもそも、この計画の対象は同頁（3）に記載のあるとおり、保護者、地域、教育、保育施設、企業、行政などを含むすべての市民を対象とした計画です。

アクションプランでは私も委員をしておりましたが、委員や子育て支援に関係する関係者の一部が知っているだけでは、この計画そのものが意味のないものになってしまいます。

そこで、今回の乳児園の愛称を募集したように、市民に関心を持ってもらう一つのきっかけとして市報にいがた等で愛称を募集してはいかがでしょうか。

○ 24、25ページ<2基本理念>

『こども・家庭・地域に笑顔があふれるまちづくり』

これは今までも議論されてきたものですが、改めて見直してみると、

この計画が、市民とともに「子ども・家庭・地域に笑顔があふれるまちづくり」を創っていく旗となるならば、「新潟市」という言葉が入ってもいいのではないだろうかと思いました。